

科目名	理学療法総合演習Ⅰ			授業の種類	演習	講師名	
授業回数	15回	時間数	30時間 (1単位)	配当学年・時期	理学療法士科1年	必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕							
①医療および理学療法を取り巻く倫理について学ぶ。また、倫理原則を知り、事例検討による倫理原則の遵守を学ぶ。 ②対象者中心のの視点を持つことにより、理学療法士としての使命と責務を学ぶ。							
〔授業全体の内容の概要〕							
医療・生命・臨床倫理の原則を事例検討を行いながら、学ぶ。							
〔講師の実務経験〕							
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕							
①医療および理学療法の倫理に関する規範・原則を説明できる。 ②対象者中心視点をインフォームドコンセントの意義と必要性という観点で説明できる。							
回数	講義内容						
1	理学療法士および作業療法士法について						
2	医療法ならびに関連職種の資格法について						
3	個人情報保護法、コンプライアンスについて						
4	社会と理学療法① 健康の概念と健康寿命						
5	社会と理学療法② 健康と社会・環境(人的環境、ライフスタイル)						
6	社会と理学療法③ 自然災害と生活ならびに健康との関連						
7	予防の概念（第一次予防、第二次予防、第三次予防）						
8	理学療法（定義、理学療法とリハビリテーションの違い、アイデンティティ）						
9	理学療法の対象と方法						
10	医療および理学療法を取り巻く倫理的課題について						
11	生命・臨床倫理について						
12	対象者中心視点（インフォームドコンセント、セカンドオピニオン）について						
13	理学療法士の使命と責務について						
14	理学療法士の活動分野と求められるもの①						
15	理学療法士の活動分野と求められるもの②						
【 準備学習・時間外学習 】							
【 使用テキスト 】							
書籍名		著者名		出版社			
授業時に必要なプリント資料を配布する。							
【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】							
筆記試験にて評価する。							